

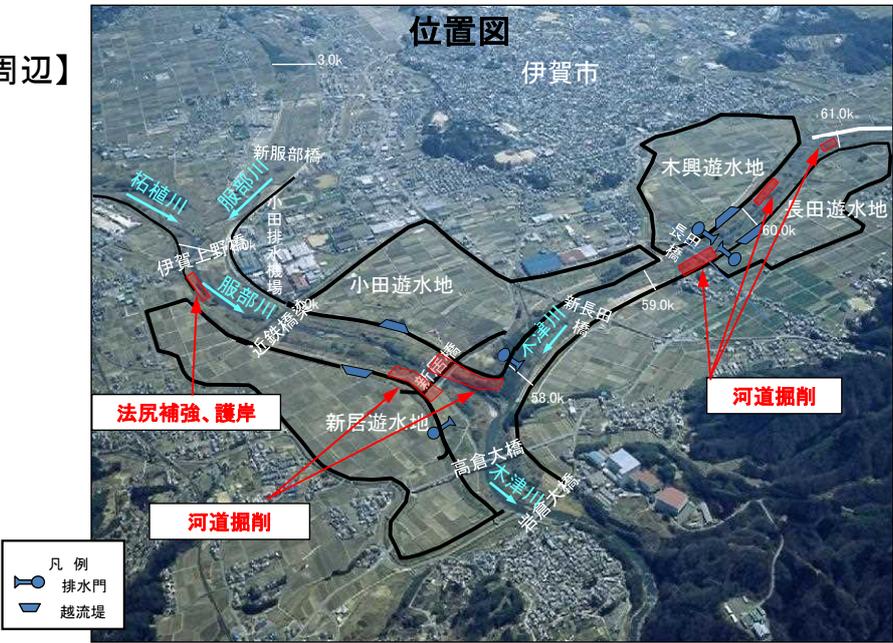
2019取組内容 (ハード対策:直轄管理区間)

ハード対策 **洪水を安全に流すためのハード対策を実施** 木津川上流河川事務所

○木津川、服部川(三重県 伊賀市)の河道掘削等を実施 課題対応 S
【平成28年度～:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、木津川、服部川の河道掘削等を実施。流下能力不足を解消していくとともに、上野遊水地及び今後整備される川上ダムの治水効果を最大限発揮できるようにしていく。

R1事業箇所
【上野遊水地周辺】



○木津川(三重県 伊賀市)の河道掘削等を実施

課題対応 **S**

【令和元年度～:近畿地整】

■木津川 木興地区(R1)



■木津川 長田地区(R1)

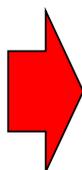


○服部川(三重県 伊賀市)の河道掘削等を実施

課題対応 **S**

【平成28年度～:近畿地整】

■服部川 東高倉地区(R1)



○名張川(三重県 名張市)の河道掘削等を実施

課題対応 **S**

【平成29年度～:近畿地整】

■名張川 松原地区(R1)



○木津川(京都府南山城村、笠置町)の河道内樹木伐採を実施

課題対応 **S**

【令和元年度～:近畿地整】

■木津川 南大河原地区(R1)



■木津川 有市地区(R1)



○宇陀川(宇陀市)の河道掘削等を実施

課題対応 **(m)**

【令和元年度～:近畿地整】

■宇陀川 室生大野地区(R1)



○堤防裏のり尻の補強、天端の保護

課題対応 **(S)**

【平成28年度～:近畿地整】

「水防災意識社会」再構築ビジョンの取組として、堤防裏のり尻の補強や堤防天端をアスファルト等で保護し、決壊までの時間を少しでも延ばす。

実施箇所：三重県伊賀市 小田地区等
 実施内容：天端保護、堤防裏のり尻補強

凡例	
天端保護	堤防裏のり尻補強
平成29年度迄実施箇所	平成30年度以降予定

【堤防裏のり尻補強】

【堤防天端保護】

アスファルト等で保護

H29年度施工 服部川左岸

H28年度施工 木津川右岸

2019取組内容 (ハード対策:直轄砂防)

ハード対策

土砂災害を防ぐためのハード対策の実施

紀伊山系砂防
事務所

○砂防堰堤(宇陀市)の整備を実施

【令和元年度:近畿地整】

- ・宇陀市室生大野地区の土石流危険渓流において、人家や要配慮者利用施設があることから、甚大な被害を未然に防ぐため、砂防堰堤の整備を実施

工事実施概要

実施箇所:宇陀市室生大野
実施内容:砂防堰堤



2019取組内容 (ハード対策:府県管理区間)

ハード対策

洪水を安全に流すためのハード対策を実施

伊賀建設
事務所

【取組内容】 県管理河川において河川改修を実施
(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

【平成29年度～：三重県】

課題対応 **S**

【現状の課題】

県管理河川において堤防や護岸の一部未整備、また横断構造物等により流下能力が不足している区間がある。

取水堰（固定堰）の状況（木津川 県管理区間）



新田井堰



三郷井堰

【取組内容】 県管理河川において河川改修を実施
 (洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

課題対応 **S**

【平成29年度～：三重県】

【現状の課題】

県管理河川において堤防や護岸の一部未整備、また横断構造物等により流下能力が不足している区間がある。

固定堰の改築 木津川（県管理区間）松之本井堰



固定堰



可動堰に改築

13

【取組内容】 県管理河川において河川改修を実施
 (洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

課題対応 **S**

【平成29年度～：三重県】

【現状の課題】

県管理河川において堤防や護岸の一部未整備、また横断構造物等により流下能力が不足している区間がある。

固定堰撤去（農林事業）と連携した河川整備 服部川（県管理区間）荒木地内



14

【取組内容】 県管理河川において河川改修を実施
(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)

課題対応 (S)

【平成29年度～：三重県】

【現状の課題】

県管理河川において河川内に土砂等が堆積し、流下能力が不足している区間がある。



【取組内容】 県管理河川において堤防構造を工夫する取組
(堤防天端の保護・裏法尻の補強)

課題対応 (S)

【平成29年度～：三重県】

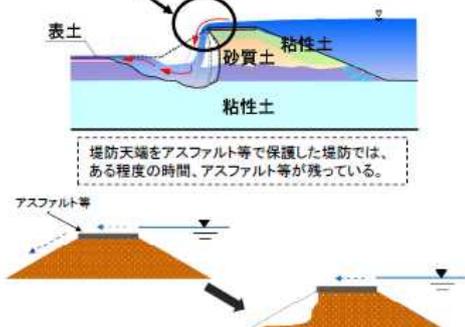
【現状の課題】

上下流バランスから計画堤防高での整備が困難な箇所において、粘り強い構造の堤防とすることで、流下能力を上回る洪水が発生した場合でも、住民の避難時間を一定確保する。

粘り強い構造の堤防整備 久米川 ほか

堤防天端の保護

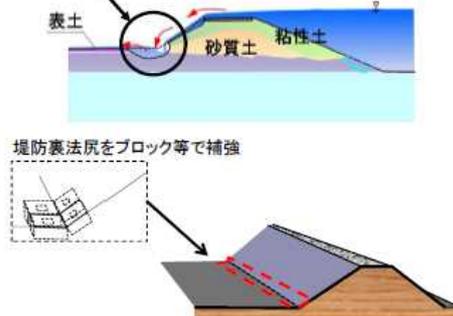
- 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。

堤防裏法尻の補強

- 裏法尻をブロック等で補強し、深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防裏法尻をブロック等で補強

○整備計画に基づく河川改修の実施

課題対応 SM

【令和元年度：奈良県】

計画堤防断面に対して高さや幅が不足している区間では、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、学識経験者や地方公共団体の長や住民の方々等の意見を踏まえて策定した「淀川水系（奈良県域）河川整備計画」に基づいて改修工事を実施している。

位置図	実施状況	
<p>位置図</p> <p>長谷寺駅 榛原駅 福地 悠楽園 伊那佐山 うだ・アニマルパーク 西山岳</p> <p>箇所① (宇陀市榛原萩原)</p> <p>箇所② (宇陀市大宇陀西山)</p>	<p>●工事名：町並川 バイパス流入立坑工事</p> <p>●工期：R1.9.30～R4.1.31</p> <p>●工事延長：H=30m Φ=5.5m</p> <p>箇所①（工事中）</p>	<p>箇所①（工事前）</p>
感想等	<p>●工事名：宇陀川 河床掘削・落差工工事</p> <p>●工期：R1.11.8～R2.5.29</p> <p>●工事延長：169m,170m（2箇所）</p> <p>箇所②（工事後）</p>	<p>箇所②（工事前）</p>
<p>今後も河川整備計画に基づいた、河川改修を着実に実施し、淀川水系の治水安全度の向上に努めていく。</p>		

2019取組内容 (ハード対策：市町村管理区間)

洪水予測や水位情報の提供の強化

課題対応 緊4

【平成30～令和元年度：津市、三重県】

市内の県管理河川において、洪水時の水位監視を目的とした危機管理型水位計の設置が三重県により進められており、平成30年度に10箇所、令和元年度に4箇所の設置が完了した。

位置図



19

2020取組予定
(ハード対策：直轄管理区間)

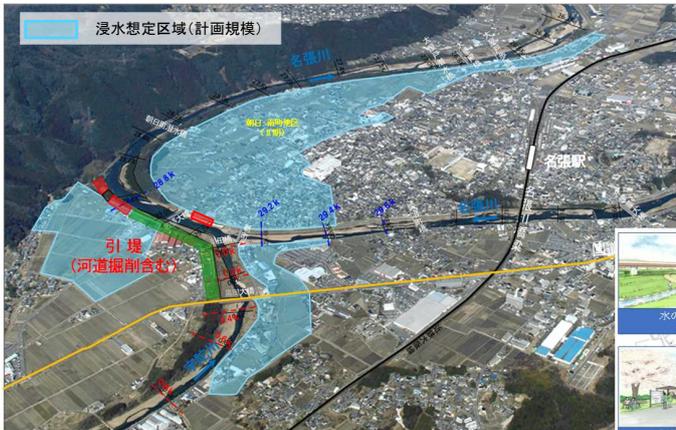
○名張川(三重県 名張市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

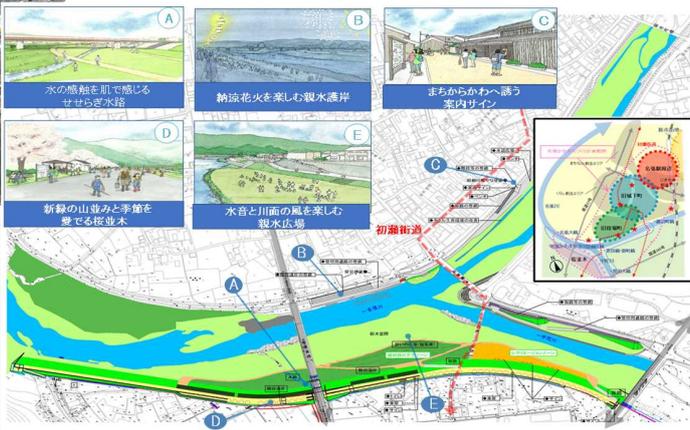
【平成30年度～：近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、三重県名張市朝日町・南町地区の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していく。

■名張川 名張かわまちづくり一体型浸水対策事業



名張市街地の浸水被害の軽減を図るため、かわまちづくりと連携して、引堤及び河道掘削を推進します。これにより木津川上流ダム群の洪水調節機能をさらに向上させます。



○木津川、服部川(三重県 伊賀市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

【平成28年度～：近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、服部川(伊賀市)の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していくとともに、上野遊水地及び今後整備される川上ダムの治水効果を最大限発揮できるようにしていく。

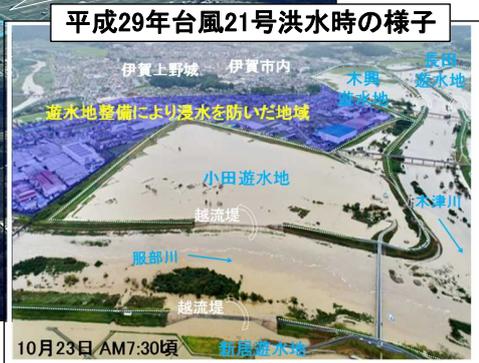
■木津川上流 上野遊水地

※工事箇所は今後変更となる場合があります。

上野遊水地事業の一環として、河道掘削等を実施し、川上ダム建設事業と併せて、早期に地域の安全性の向上を図ります。



凡例	
	完成済み
	R2年度実施
	R3年度以降



浸水想定区域(計画規模)

○木津川(三重県 伊賀市)の築堤護岸整備を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

洪水時の危険性に関する対策として、県道整備と連携して築堤護岸整備を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



23

○宇陀川(奈良県 宇陀市)の護岸整備等を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

洪水時の危険性に関する緊急対策として、ダム下流における河岸の護岸等を整備し、早期に地域の安全性の向上を図る。

■宇陀川 室生三本松地区



24

○宇陀川(三重県 名張市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、三重県名張市安部田地区の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していく。

■宇陀川 安部田地区



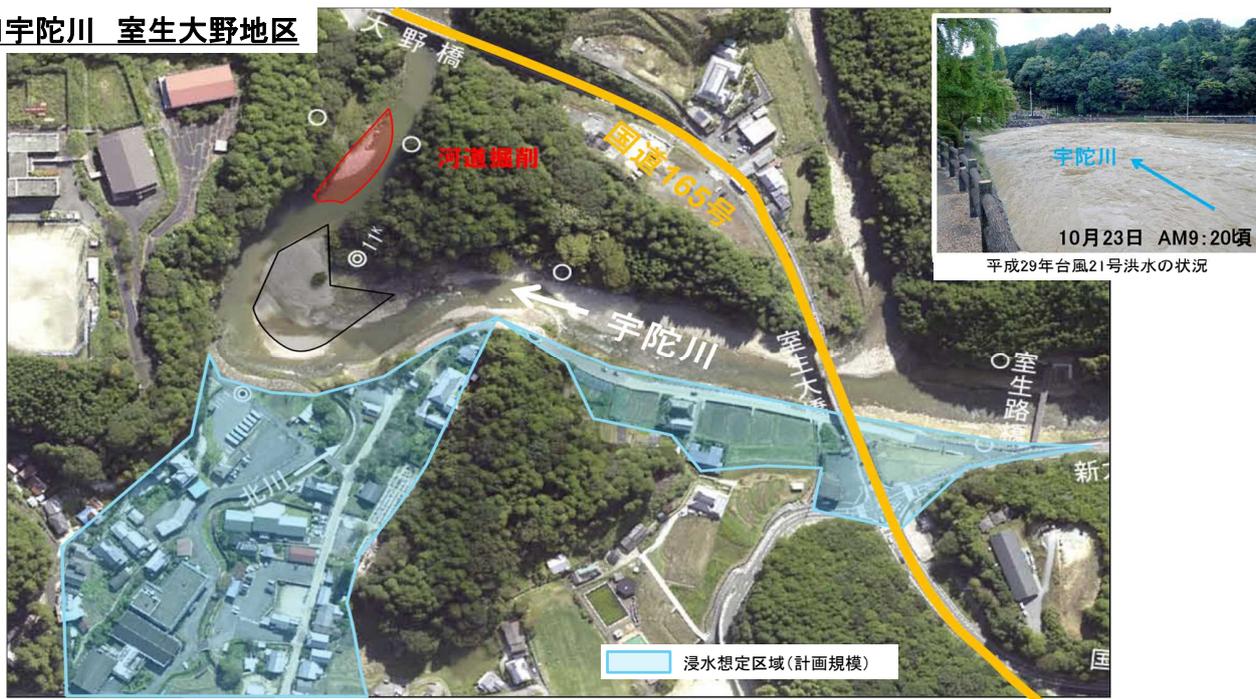
○宇陀川(奈良県 宇陀市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

洪水時の危険性に関する緊急対策として、ダム下流における河道掘削を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

■宇陀川 室生大野地区



2019取組内容 (ソフト対策:直轄)

ソフト対策

小学校における水災害教育の実施

木津川上流河川事務所

○防災教育の取り組みとして小学校で河川・防災教育を実施

課題対応

J

【令和元年度:名張市、近畿地整】

防災教育の取り組み強化の一環として、昨年度に引き続き、文部科学省（教育委員会・小学校）と国土交通省（木津川上流河川事務所）が連携・協力して名張市で河川・防災教育の授業を実施しました。

～開催概要～

- 【日 時】: 令和元年7月30日(火)
13時30分～15時30分
- 【場 所】: 名張市立桔梗ヶ丘南小学校
(放課後児童クラブ32人)
- 【内 容】: 出前講座 講師 若手職員4人
1. 防災と川の環境について(スライド説明)
 2. 水質調査(パケット体験)
COD,pHを用いて3種類の水の違いを確認
 3. ドローン操作体験
一人ずつ実際にドローンの操作を体験

実施状況

防災(大雨がふった時に危険)と川の環境(川のごよれの原因など)について学習

【講座の様子】



【水質調査(パケット)】



【ドローン操作体験】



～位置図～



○笠置町職員を対象に防災対策強化に関する勉強会を開催

課題対応 **F**

【令和元年度：笠置町、近畿地整】

・「木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会」の取り組みの一環として水害と土砂災害による複合災害が想定される笠置町において、役場職員を対象に**豪雨時の避難対策強化に向けての勉強会**を開催しました。

・勉強会では、「**笠置町における災害の危険性と防災上の課題**」と「**笠置町災害対応タイムライン案**」について意見交換をして頂き、現状と課題について理解を深めて頂きました。

開催概要

開催日時：令和元11月25日(月) 14:00～16:00
開催場所：笠置町役場(京都府相楽郡笠置町)
参加人数：17名
(内訳：笠置町職員13名、水資源機構 3名、国交省 1名)

<検討会の内容>

- ①豪雨時の避難対策強化案の検討
- ②「笠置町災害対応タイムライン案」検討
- ③意見交換

主な意見や課題

- ・職員数の不足、避難所のキャパ不足
- ・町外への避難を促すのが難しい
- ・避難所の運営を住民主体で出来ないか
- ・避難勧告を出すタイミングが難しい
- ・避難情報を出し過ぎると慣れて避難しなくなるのでは
- ・活動困難な高齢者が多い
- ・地域出身の消防団員の減少



①豪雨時の避難対策、②避難行動要支援者への対策について班別に分かれて職員間で意見交換

洪水時のダム操作に関する説明
(水資源機構高山ダム管理所)

各班の意見をとりまとめて発表

近年の豪雨災害や洪水発生程度に関する説明
(木津川上流河川事務所)

29

○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく簡易型河川監視カメラ設置状況

課題対応 **f**

【令和元年度：近畿地整】

【目的】

氾濫の危険が高く、人家や重要施設のある箇所には『簡易型河川監視カメラ』を設置し、河川状況を確認することで従来の河川情報に加えリアルタイムのある洪水情報を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。

【特徴】

- 屋外に容易に設置できる。(無線式の場合、電源、通信ケーブルの確保不要)
- 機能を限定し低コスト化を図り、中小河川にも普及を促進する。



試験計測状況



撮影された画像

30

○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
簡易型河川監視カメラ設置状況

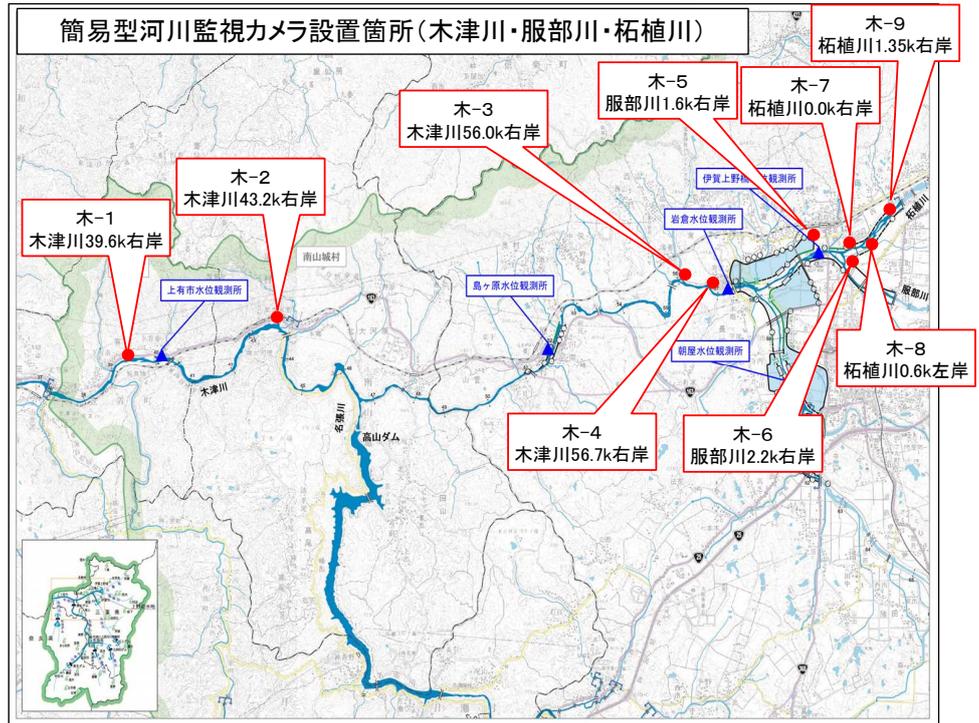
課題対応 **f**

【令和元年度：近畿地整】

■簡易型河川監視カメラ一覧

R1年度設置予定箇所

市町村	河川名	設置数
笠置町	木津川	1
	計	1
南山城村	木津川	1
	計	1
伊賀市	木津川	2
	服部川	2
	柘植川	3
	計	7
名張市	名張川	4
	宇陀川	6
	計	10
山添村	名張川	1
	計	1
宇陀市	宇陀川	5
	計	5
	合計	25



○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
簡易型河川監視カメラ設置状況

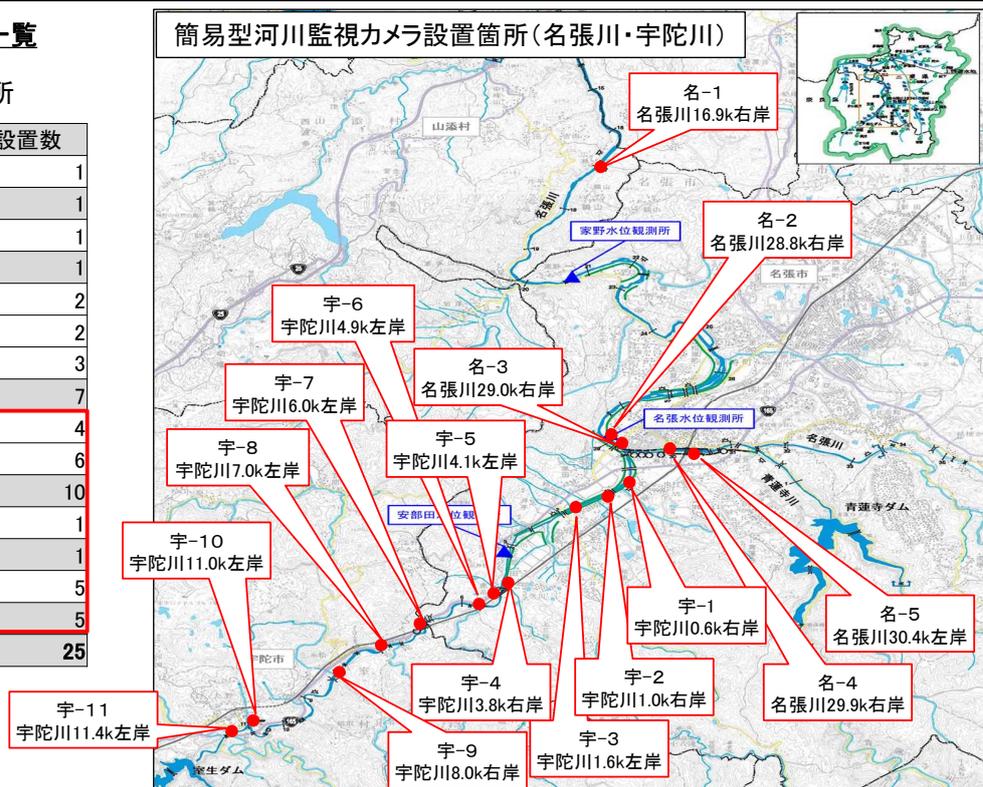
課題対応 **f**

【令和元年度：近畿地整】

■簡易型河川監視カメラ一覧

R1年度設置予定箇所

市町村	河川名	設置数
笠置町	木津川	1
	計	1
南山城村	木津川	1
	計	1
伊賀市	木津川	2
	服部川	2
	柘植川	3
	計	7
名張市	名張川	4
	宇陀川	6
	計	10
山添村	名張川	1
	計	1
宇陀市	宇陀川	5
	計	5
	合計	25

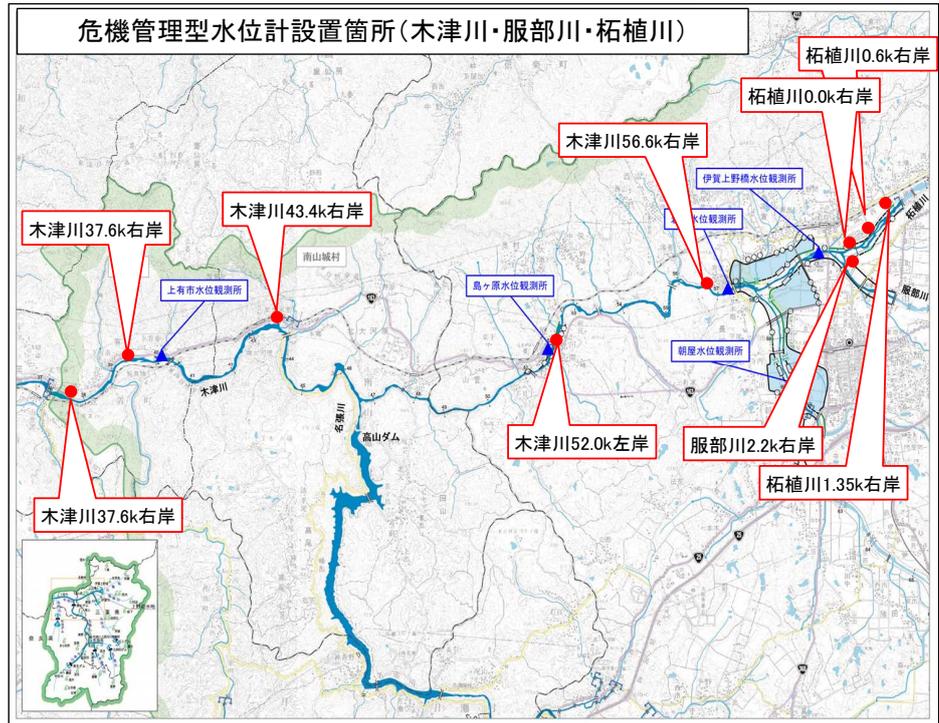


○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
危機管理型水位計運営状況(川の水位情報による一般公開)【令和元年度:近畿地整】

課題対応 **(H,K)**

■危機管理型水位計一覧

市町村	河川名	設置数
笠置町	木津川	2
計		2
南山城村	木津川	1
計		1
伊賀市	木津川	2
	服部川	1
	柘植川	3
計		6
名張市	名張川	5
	宇陀川	5
計		10
山添村	名張川	1
計		1
宇陀市	宇陀川	4
計		4
合計		24

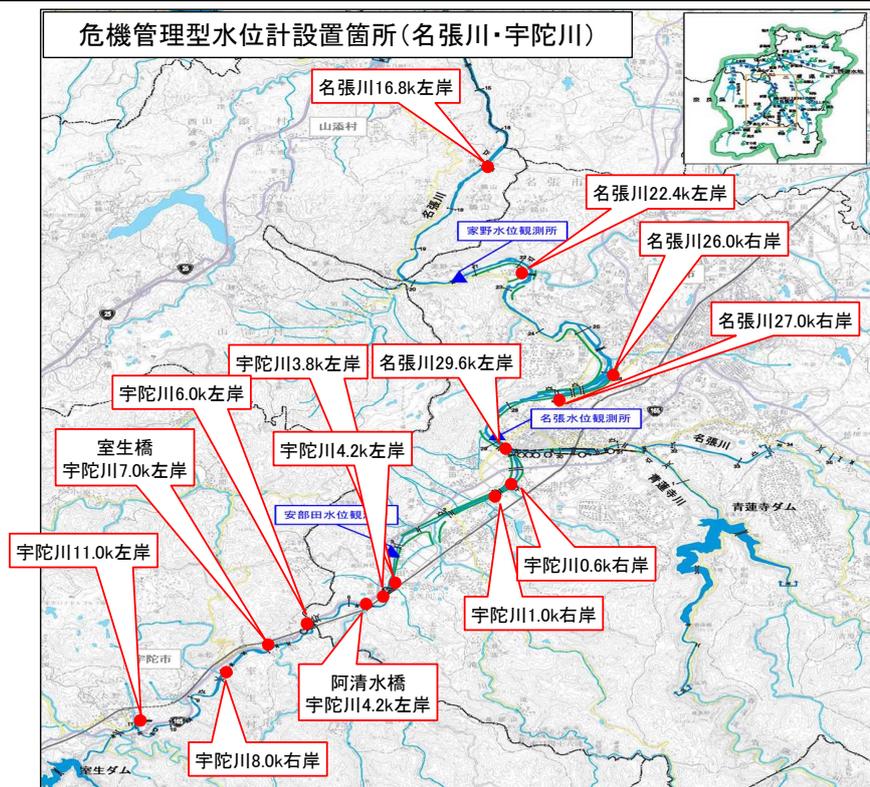


○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
危機管理型水位計運営状況(川の水位情報による一般公開)【令和元年度:近畿地整】

課題対応 **(H,K)**

■危機管理型水位計一覧

市町村	河川名	設置数
笠置町	木津川	2
計		2
南山城村	木津川	1
計		1
伊賀市	木津川	2
	服部川	1
	柘植川	3
計		6
名張市	名張川	5
	宇陀川	5
計		10
山添村	名張川	1
計		1
宇陀市	宇陀川	4
計		4
合計		24

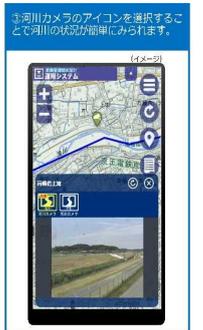
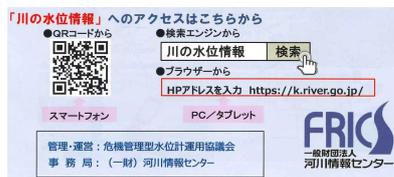
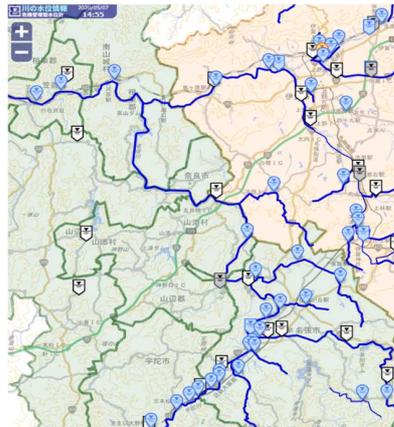


○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
危機管理型水位計運営状況(川の水位情報による一般公開) 【令和元年度:近畿地整】

課題対応 **H,K**

■危機管理型水位計一覧

市町村	河川名	設置数
笠置町	木津川	2
計		2
南山城村	木津川	1
計		1
伊賀市	木津川	2
	服部川	1
	柘植川	3
計		6
名張市	名張川	5
	宇陀川	5
計		10
山添村	名張川	1
計		1
宇陀市	宇陀川	4
計		4
合計		24



○奈良市に影響があった近年の台風事例をベースにオリジナル教材
の気象庁ワークショップを中学生職場体験学習で実施 【令和元年度:奈良地方気象台】

課題対応 **J**

- ・奈良県内に大きな被害が発生した平成29年台風第21号を本ワークショップの事例とし、自分が通う学校の校区内にある洪水浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内にある家の家族の一員であるとき、台風が接近・上陸する場合、どのタイミングでどう行動すべきなのかについて3人1組でグループ学習を実施。
- ・同ワークショップでは、防災気象情報や避難に関する情報を確認・グループ内での認識を共有し、家族とどう連絡を取り合うのか、どう避難するのかシミュレーションを行い、発表も実施。

気象庁ワークショップの実施概要

- 職場体験学習
- 実施概要 気象庁ワークショップの標準的な運用マニュアルに沿って実施
- 当日のスケジュール
気象庁ワークショップの標準的なタイムスケジュールに沿って実施

感想等

- 学校の校庭が浸水想定区域内にあるので、避難所に指定されている自分の通う中学校以外に避難することを考える必要がある。
- 非常時は電話が繋がりにくく、家族間の連絡が難しくなるので、あらかじめ家族間で非常時の連絡体制を話し合っておく必要がある。

実施状況



○指定河川洪水予報文の改善

課題対応 E

【令和元年度：三重河川国道事務所・津地方気象台】

- ・避難警戒レベルの判断に資するための指定河川洪水予報文の改善

実施概要

- 令和元年5月29日
- 河川国道事務所、気象台

実施状況

警戒レベルを追記した指定河川洪水予報の例



正規

雲出川氾濫危険情報

雲出川及び雲出古川洪水予報第〇号
洪水警報
令和〇〇年〇月〇日△時△分
三重河川国道事務所 津地方気象台 共同発表

(見出し) 【警戒レベル4相当情報(洪水)】 雲出川及び雲出古川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり

(注 文) 【警戒レベル4相当】 雲出川の大仰水位観測所(津市)では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に達しました。津市、松阪市では、雲出川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

【警戒レベル4相当】 雲出川の雲出橋水位観測所(津市)では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に達しました。津市、松阪市では、雲出川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

37

○土砂災害警戒情報文の改善

課題対応 Z

【令和元年度：・津地方気象台】

- ・避難警戒レベルの判断に資するための土砂災害警戒情報文の改善

実施概要

- 令和元年5月29日
- 三重県、気象台

実施状況

警戒レベルを追記した土砂災害警戒情報の例

三重県土砂災害警戒情報 第1号

令和元年x月x日 xx時xx分
三重県 津地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

名張市* 尾鷲市* 熊野市* 伊賀市* 紀北町* 御浜町* 紀宝町*
*印は、新たな警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

<概況>
降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
<とるべき措置>

避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報「土砂災害」】。崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。



警戒対象地域

問い合わせ先
059-228-2697
(三重県県土整備部防災対策課)
059-228-2022
(津地方気象台)

38

2019取組内容 (ソフト対策:水資源機構)

ダム機能等に関する住民説明

水資源機構

○「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」の提言を踏まえた対応のひとつとして、ダム下流住民に対し、ダムの機能やその限界について理解を深め、避難勧告等発令時の適切な対応の呼びかけを順次実施

課題対応AB

【令和元年度:木津川ダム総合管理所】



●2019年11月



●2019年8月



●2019年9月



●2019年10月



●2019年12月

2019取組内容 (ソフト対策:府県)

ソフト対策

逃げ遅れゼロに向けたホットラインの構築

伊賀建設
事務所

【取組内容】伊賀市・三重県間においてホットラインを開設

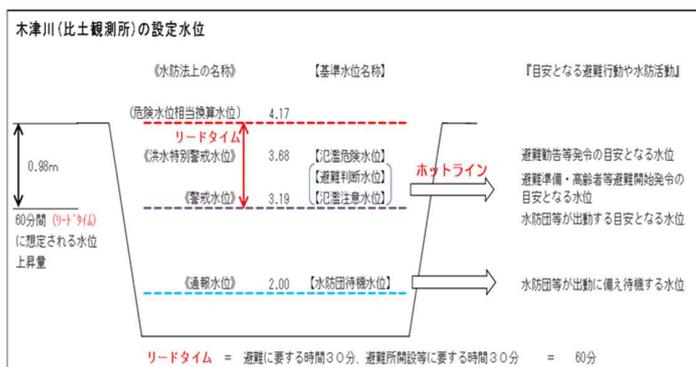
課題対応 **C**

【平成29年度～：伊賀市、三重県】

【現状の課題】平成28年台風10号において岩手県内の河川の増水による避難勧告が発令されるまでの間にグループホームの入居者が犠牲になった。今後、市町村が避難勧告等の発令を判断するための支援として、河川管理者から市町村長等への直接の情報提供が有効である。

【ホットライン活用ガイドライン（平成29年2月）】

- ◆ 県管理河川のうち対象河川
 - ・ 水位周知河川（木津川、柘植川、服部川）
- ◆ 伝える内容
 - ・ 河川の水位の変化と今後の見通し
 - ・ 想定される被害 など

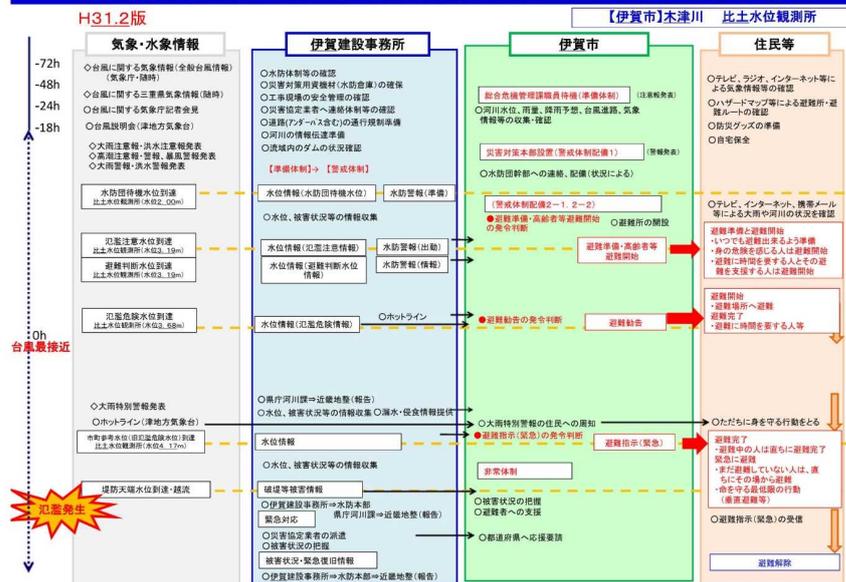


【取組内容】 **伊賀市・三重県間においてタイムラインを作成**
(水害対応タイムライン) 【平成30年度～：伊賀市、三重県】

課題対応 **C**

【現状の課題】 近年の豪雨の局地化、集中化、激甚化による被害を最小限にするため、施設整備だけでなくソフト対策との組み合わせが重要。災害の発生を前提に関係機関が「いつ」「誰が」「何をするか」等の防災行動計画を策定しておくことが有効。

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)



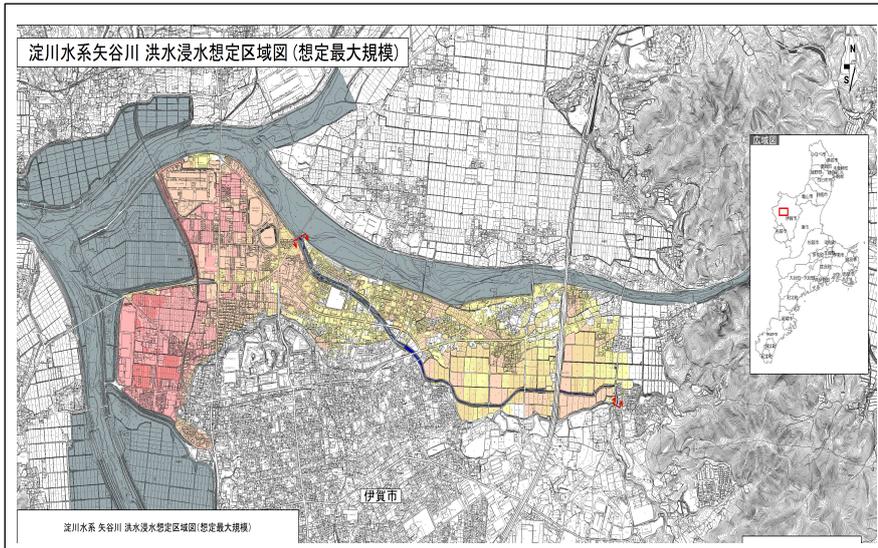
【伊賀市・木津川の例】

【取組内容】 **想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表**
【平成29年度～：三重県】

課題対応 **A**

【現状の課題】 想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図を策定・公表し、平時からの住民への周知を図るとともに、市の洪水ハザードマップ作成を支援する。

三重県では洪水時の住民の早期避難等に資するため、水防法で定められた水位周知河川のほかに、水位周知河川の支川や危機管理型水位計を設置した河川を対象に洪水浸水想定区域図の作成に取り組んでいる。



【県管理区間における取組内容】

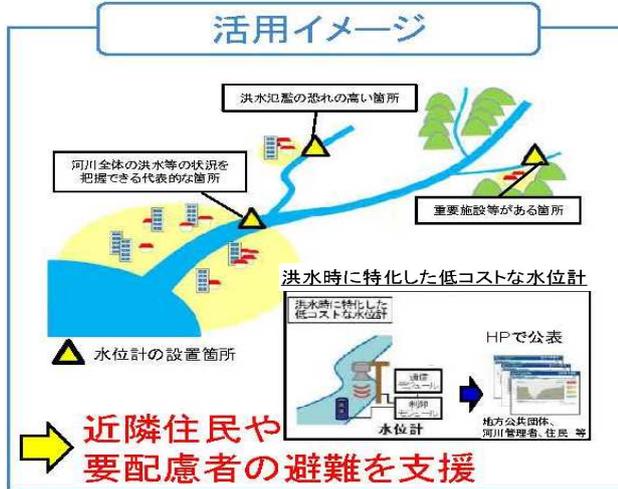
- ・令和2年6月末までに、水位周知河川である、木津川・服部川・柘植川のほか、矢谷川・前深瀬川（伊賀市）、滝川・名張川（名張市）の洪水浸水想定区域図を策定・公表。
- ・今後、伊賀建設事務所管内の22河川において、洪水浸水想定区域図を策定し公表する予定。
- ・令和2年度は久米川の洪水浸水想定区域図を策定に取り組む。

【取組内容】「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に
基づき危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラを整備
【平成30年度～：三重県】

課題対応 **K**

【現状の課題】洪水時に円滑かつ迅速に避難するための判断の目安となるよう、河川の水位情報を充実させるとともに、画像・映像によるリアリティーのある災害情報を提供する必要がある。

・危機管理型水位計の整備



・平成30年度及び令和元年度に整備を進め、伊賀市に28基、名張市に7基の整備を完了。

・簡易型河川監視カメラの整備



設置が容易で低コストな簡易型河川監視カメラを開発。
スマートフォン等で水位情報とともに、静止画をリアルタイムで提供

・令和2年度は水位周知河川（木津川・服部川・木津川）に整備

○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

課題対応 **i**

【令和元年度：奈良県】

令和元年度奈良県防災総合訓練を開催した。奈良県防災総合訓練は防災関係機関等の参加と住民の協力を得て、総合的な防災訓練を行うことにより、防災関係機関等の連携体制の強化及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的として毎年実施している。水防訓練では、関係機関が協力して、土のう積み訓練を実施した。

実施概要

- 日時：令和元年8月31日（土）9:00～12:00
- 場所：航空自衛隊幹部候補生学校、桜井市、桜井市消防団、奈良県県土マネジメント部河川整備課・中和土木事務所
(毎年県内市町村で持ち回りで実施)
- 対象：県民、県内市町村関係者など
- 実施概要：上記参加機関合同により水防訓練を実施した。河川パトロールによる決壊箇所発見から、土のう作製、積み土のう設置(改良土のう着工)を実施した。

感想等

県民の防災意識の向上、関係機関の連携強化、防災技術の向上、地域防災力の向上が期待される。

実施状況



訓練開始前



土のう作製



積み土のう設置



積み土のう設置

○県・市町村間のホットラインの構築、運用開始

課題対応 **b**

【令和元年度：奈良県】

県・市町村間の洪水対応ホットラインを構築し、平成30年6月16日から運用を開始した。令和元年度は木津川上流部ではホットラインの実施はなかった。

ホットラインの概念

県管理河川は中小規模の河川が多く、急激な水位上昇も考えられることから、避難の判断につながる情報の遅れや漏れを防ぐため、**河川管理者**から、避難勧告等の**発令を判断する市町村長等へ直接電話により伝達**する仕組みである。

ホットライン概念図



感想等

令和元年度は木津川上流部ではホットラインの実施はなかったが、他圏域の事例も参考に限られた時間の中で迅速かつ的確に情報伝達できるように、協議会の場を活用して情報の伝達方法等について確認することが必要である。

○不動産関係者を対象とした水災害教育の実施

課題対応 **h**

【令和元年度：奈良県】

県政出前トークとして不動産関係者を対象とした水災害教育を実施した。

実施概要

- 日時：令和元年9月20日(金)
- 場所：大和郡山城ホール
- 対象：（公社）不動産保証協会奈良県本部、奈良県県土マネジメント部河川整備課
- 実施概要：住宅等を購入・改築する際に不動産業者から土地の災害リスクの把握や、災害リスクを軽減・回避する努力を促すことができるよう不動産保証協会の法定義務研修会にて講義を行った。奈良県の治水対策について説明後、水害リスクの確認として洪水浸水想定区域図の説明、出水時に避難判断の材料となる情報収集の方法として奈良県ホームページ等を紹介した。

感想等

県民の防災意識の向上、関係機関の連携強化、防災技術の向上、地域防災力の向上が期待される。

実施状況



県政出前トークの様子



県政出前トークの様子



県政出前トークの様子

2019取組内容 (ソフト対策:市町村)

ソフト対策

住民・自治体職員の水災害意識の向上

笠置町

水害時対応勉強会・研修会の実施

課題対応 緊3

【令和元年度:笠置町、京都府、木津川上流河川事務所】

- ・町職員を対象に笠置町内の浸水リスク等についてのワークショップ形式の検討会を開催。グループごとに避難対策強化案、避難行動タイムラインを検討した。
- ・区長・消防団などの防災リーダーを対象に、京都府・笠置町・和束町・南山城村合同の災害時声掛け人材養成研修を実施。水害時等の避難行動をグループワーク形式の研修を実施した。

時期	場所	内容
令和元年11月25日(月)	笠置町役場	「笠置町における豪雨時の防災対策強化に関する検討会」 ・豪雨時の避難対策強化案の検討、タイムライン検討、浸水想定区域クリアファイル作成
令和元年12月7日(土)	和束町社会福祉センター	「災害時声掛け人材養成研修」 ・地域における早期・自主的な避難行動の検討

笠置町における豪雨時の防災対策強化に関する検討会



タイムラインの検討



浸水想定区域クリアファイル

災害時声掛け人材養成研修



地域内での危険箇所を確認

活動の効果
今後の予定

地域における浸水リスクへの認識が高まり、職員間、住民の方の防災意識の向上を図った。
引き続き職員勉強会、住民の方との意見交換会を行い、防災対策を推進する。

取組内容 地域住民を対象に防災研修を実施

課題対応 緊3

【令和元年度：南山城村】

具体的な取組内容

京都府の支援を受け、笠置町、和束町と合同で地域住民等を対象に研修を実施。
 「災害時声掛け人材（地域において避難行動タイムラインの作成の普及や災害時に早めの非難を呼びかけるなどの役割を担う人材）」の養成を目的とし、専門家による講義やワークショップを実施した。

実施概要

- 日時
令和元年12月7日
午後2時～午後4時
- 参加者
京都府、笠置町、和束町、南山城村
各地域の自主防災組織、消防団等

感想等

参加者アンケートで8割以上の方が「避難のタイミング」「安全な避難」について理解が深まったと回答があった。

実施状況



ワークショップ



ワークショップ 発表

51

○防災知識の広報活動

課題対応 h

【令和2年度】

○概要

村の広報紙6月号（6月1日配布）に、出水期に備えるための特集記事を掲載している。これにより、村民へ災害に対する注意喚起を行うとともに、備蓄品等の災害への備えを促し、村の防災力向上を努めている。

【記事内容】

- 土砂災害の兆候について
- 風水害等の備え・準備について
- 備蓄品のローリングストックについて
- 非常持出品チェックリストについて
- り災証明書の発行について

○記事概観



○参考

- 令和2年度における広報紙「広報やまぞえ」への防災関連記事掲載状況
- Jアラート・緊急地震速報の案内

取組内容 宇陀市地域防災リーダー講座研修会の開催

課題対応 h

【令和2年度:宇陀市】

具体的な取組内容 令和2年度中に市内体育館において、自治会や自主防災組織の代表者約50名を対象に地域防災リーダー講座研修会を予定。
宇陀市では「自助・共助・公助」による防災・減災作用を強化させることで災害に強いまちづくりを目指して毎年継続して取り組んでいる研修会です。

実施概要

- 日時 令和2年度中
- 参加機関 自治会、自主防災組織、宇陀市
- 実施概要 避難所設営・運営訓練
(座学・実技)
- 当日のスケジュール
09:00～15:00

感想等

毎年受講者からは好評を頂いています。

実施状況

